

学科名	マンガ・アニメーション科
コース名	共通
授業科目	デッサン実習3
必選	選4
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	60
単位数	2
担当教員	大槻 透、斉藤里香
実務経験	有
実務経験職種	画家
授業概要	素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。
到達目標	描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。
授業方法	対面方式にて実習形式で行う
成績評価方法	課題 80% 課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 授業態度 20% 作品制作への積極性を評価
履修上の注意	苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合があるので、 逐一巡回、個人指導を行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	必要に応じて授業にて資料配布を行う

授業計画	
1 回	身近なものに隠されたパース（球・円柱・立方体） 様々な基礎形態の構造の再確認。構図の工夫と空間表現。
2 回	風景（屋外） 学校周辺の取材。クロッキーと写真撮影。
3 回	風景（屋外） 空間と光の表現
4 回	風景（屋外）
5 回	人物クロッキー プロポーションとジェスチャー 素早くとらえる
6 回	ヌードデッサン 人体の観察 プロポーション 動き 量感
7 回	ヌードデッサン リアルな人物描写 完成度の高い作品を仕上げる
8 回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 空間を生かした構図の工夫 構造の理解と量感
9 回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 野菜固有の形や大きな陰影を観察し量感を出す
1 0 回	静物Ⅰ（かぼちゃ・基礎形態） 固有色の対比に注目し細部まで描写する
1 1 回	石膏クロッキー ポリウム画 ポリウムに注目し、形を大掴みにとらえる目と手の訓練 クロッキー
1 2 回	石膏 胸像 構図 背景も含めた明暗の計画 測量と比較の徹底
1 3 回	石膏 胸像 丁寧な観察による陰影表現と量感 測量と比較の繰り返し
1 4 回	石膏 胸像
1 5 回	石膏 胸像 仕上げに向けた描写の積み重ね。空間、質感。時間をかけて描き切る